



教科書の文章を正確に読めるようにする取組



立春を迎え、令和8年も、早くも1か月が過ぎました。まだまだ寒い日が続いていますが、休み時間には、中庭や校庭で遊ぶ元気な子どもたちの姿が見られています。

さて、今年度、中央小では、学力向上に向け「教科書の文章を正確に読めるようにする」ことに取り組んでいます。どの教科でも、問題の文章を読み、何が書かれているのかを正しく理解することが、問題を解くためのスタートとなります。また、文章を正確に読むためには、目で見ただけの文字を、頭の中で言葉のまとまりとして捉えることが必要となります。それらの向上をめざし、全校で「毎日30秒間の音読（30秒間で何文字読めるか：目標低学年100文字、中学年150文字、高学年200文字）」に取り組んでまいりました。

5月と12月を比べますと、30秒間で読める文字数が、学校全体の平均で24文字向上しました。中学年の国語の教科書を例にすると、おおよそ1行多く読めるようになったこととなります。

1月の全校集会では、「時々、皆さんの音読を聞かせてもらっています。5月に比べとても上手に読めるようになりました。よく頑張りました。30秒や1分という短い時間でも、毎日、積み重ねることで、何でも少しずつできるようになります。」と話し、子どもたちの頑張りを称えました。

30秒間と言えど、毎日継続することは、根気のいる学習です。教師側でも、子どもたちが意欲をもって取り組めるよう工夫をしていますが、子どもたちは、たいへんよく音読の練習に取り組んでいます。

学力向上に向け、引き続き文章を正確に読むための取組を進めてまいります。ご家庭でも子どもたちの音読を聞く機会がございましたら、ぜひ、耳を傾け、たくさん褒めてあげていただきたいと思います。

お知らせ

6年生 平和教育



1月30日（金）に、ピーススタッフ旭の方々をお招きして、平和教育に関する授業を行いました。

旭市に残っている掩体壕(えんたいごう)や慰霊碑の説明、東京大空襲を経験した方が作った紙芝居を見ながら当時の様子を聞きました。子どもたちは、戦争の怖さや命の尊さを感じる時間となりました。

5年生 校外学習

1月13日（火）に栽培漁業センターと東日本製鉄所へ見学に行きました。事前に社会科の授業で工業や漁業について学習して当日は実際に製品が出来るまでを見学し、働いている人へインタビューをして具体的に工場の様子を聞くことができました。



1年生 家庭教育学級（親子ピアダンス 閉級式）



1月22日（木）に、1年生の家庭教育学級を実施しました。今回は、ダンスインストラクターのみほ先生をお迎えし、親子でピアダンスを行いました。

Mrs. GREEN APPLE のアップテンポの曲に合わせ楽しく踊ることができ、心も体も温まるひとときとなりました。

その後は、家庭教育学級閉級式を行いました。今年度の家庭教育学級の活動は今回で最後になります。向後指導員、家庭教育学級運営委員を始め、保護者の皆様のご協力、ありがとうございました。

ホームページでは、学校だよりをカラーでご覧いただけます。
右のQRコードもご活用ください。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/index.html>



令和7年度 学校評価集計結果

【「%」の数字は、肯定的な意見(4…よくできた、3…できた)として回答した割合】

番号	項目	小 番 号	1年・2年・3年		4年・5年・6年		保護者		教職員	
			評 価 内 容	割 合	評 価 内 容	割 合	評 価 内 容	割 合	評 価 内 容	割 合
1	確かな 学力	1	ペンキょうは、たのしいですか？	91.2%	毎日の授業は、楽しい。	84.3%	学校は、楽しい授業を行っている。	92.4%	問題解決的で、既習事項を活用する授業が展開できた。	93.5%
		2							個別化と協同化を意識した授業が展開できた。	96.7%
		3							社会や生活につながり、教室から外へと広がりのある授業が展開できた。	87.1%
		4	じゅぎょうは、わかりやすいですか？	91.2%	毎日の授業は、わかりやすい。	92.0%	学校は、分かりやすい授業を行っている。	92.9%	論理性を意識した対話が充実している授業が展開できた	63.3%
		5							学習の見通しや課題内容が明確な授業が展開できた	93.5%
		6							振り返り活動が充実している授業が展開できた	90.0%
		7	ペンキょうのじかん、「なんで？」とおもうことがありますか？	65.0%	学習の時間に、「なんで？」と思うことがある。	59.8%	子どもは、学習する中で「なんで？」と疑問をもつ様子が見られる。	72.0%	「なんで？」を実感させる発問・教材・題材の授業が展開できた。	80.6%
		8	ペンキょうのじかん、「なるほど」とおもうことがありますか？	87.1%	学習の時間に、「なるほど？」と思うことがある。	83.9%	子どもは、授業を通して「なるほど！」と感ずることがある。	84.4%	「なるほど！」を実感させる授業が展開できた。	93.3%
		9	ペンキょうしたことから、「ということは・・・。」とおもうことがありますか？	78.9%	学習したことから、「ということは・・・。」と思うことがある。	70.3%	子どもは、授業で学んだことをもとに、「ということは・・・。」とさらに学ぼうという様子が見られる。	57.8%	「ということは・・・。」という深まりと発展・創造がある授業が展開できた。	61.3%
		10	本をよむことは好きですか？	78.2%	本を読むことは、好き。	49.7%	子どもは、読書を楽しむ姿が見られる。	50.5%	読書の魅力や効果について指導している。	83.9%
		11	しゅくだいは、わすれずにやっていますか？	97.6%	家庭学習（宿題をふくむ）に、進んで取り組んでいる。	71.7%	学校は、子どもの家庭学習を身に付けさせるために取り組んでいる。	80.6%	子どもの発達段階に合わせ、適切な家庭学習の指導をしている。	83.9%
		12	タブレットをつかってペンキょうすることは好きですか？	93.9%	タブレットを使って調べたり、発表したりすることは楽しい。	73.4%	学校は、タブレットや大型テレビ等のICT機器を積極的に活用している。	82.0%	ICTを活用した授業が展開できた。	71.0%
2	豊かな心	13	じぶんからともだちや先生にあいさつをしていますか？	89.1%	自分から、友達や先生、地域の人にあいさつをしている。	87.4%	子どもは、あいさつができています。	84.8%	基本的な生活習慣（あいさつ、時間を守る、言葉遣い、態度等）が図られるように意識して指導している。	100.0%
		14	ともだちのいやがることをしないように、きをつけていますか？	94.9%	友達のいやがることは、言ったりやったりしないように気をつけている。	89.9%	学校は、子ども理解に努め、いじめのない豊かな人間関係づくりに取り組んでいる。	86.7%	児童と児童の関係性（横系）をつくる取組が充実した。	100.0%
		15	じぶんのことをたいせつだとおもえますか？	92.2%	自分のことを大切に思っている。	83.9%	学校は、子どもが自分を大切に思えるよう取り組んでいる。	89.3%	子どもが自分を大切に思えるようにする指導が充実した。	100.0%
		16	クラスのともだちは、みんなのことをたいせつにしようとしていますか？	96.6%	クラスの友達は、みんなのことを大切にしようとしている。	93.7%	学校は、人権に配慮したルールを指導している。	90.8%	人権に配慮したルールが学級に成立している。	96.7%
3	健やかな体	17	たいいくや休みじかんは、すすんで体をうごかしていますか？	91.8%	体育の時間や、休み時間など、進んで体を動かしている。	78.0%	学校は、子どもの体力を向上させるために取り組んでいる。	82.5%	体力の増進、健康促進の指導をしている。	83.3%
		18	あさごはんを食べていますか？	97.3%	朝ごはんを食べてから登校している。	91.3%	学校は、子どもが健康な生活を実践できるよう食育に取り組んでいる。	87.7%	健康な生活を実践するために食育について指導している。	80.0%
4	危機管理	19	どう校や下校には、こうつうルールをまもるように、きをつけていますか？	96.9%	交通ルールを守り登校や下校をしている。	97.2%	学校は、児童の交通安全への意識向上のために取り組んでいる。	87.4%		
		20	ふしんしゃにあつたとき、どうすればよいか、していますか？	92.5%	不審者にあつたとき、どうすればよいかわかつています。	95.1%	学校は、危機管理（不審者対応・防災対応等）の意識向上のために取り組んでいる。	89.6%	非常時（不審者対応・交通事故防止・防災対応等）への指導を適切に行っている。	93.5%
5	学校生活	21	いまのがくねんになって、じぶんでできることがふえていますか？	93.5%	今の学年になって、自分で考え、行動できることが増えている。	88.8%	子どもは、自立して活動するようになっている。	85.8%	子どもが自立して活動するようになっている。	93.3%
		22	こまったことは、先生にはなすようにしていますか？	84.4%	いやなことやこまったことがあると、そのまましないで、先生に話をするようにしている。	66.4%	学校は、子どもの悩みや相談に対応するために適切に対応している。	88.9%	教師と児童の関係性（縦系）をつくる取組が充実した。	100.0%
7	家庭との 連携	23					学校は、個に応じた指導と必要な支援をしている。	89.1%	特別な支援や配慮が必要な児童に適切に対応している。	100.0%
		24					学校は、困ったときなどに相談に乗ってくれる。	89.3%	子どもや保護者の相談に適切に対応している。	96.8%
		25					学校は、子どもの様子がわかるように、電話や連絡帳で連絡をしている。	79.9%	家庭との連絡を適切に行っている。	90.3%
		26					学校は、学校の様子がわかるように、たよりやホームページ等で情報を伝える努力をしている。	88.2%		
		27					学校やPTAの行事内容は適切である。	82.7%		
8	地域学校 協働活動	28				学校は、子どものために地域学校協働活動（ボランティアによる授業支援・補助等）を効果的に活用している。	83.9%	地域学校協働活動のボランティアを導入したことは有効であった	80.0%	

<p>学校評価アンケート結果について、「成果」と「課題」をお知らせします。</p> <p>本校は、「確かな学力をもち 心豊かでたくましい児童の育成 『なんで？ なるほど！ 』ということは・・・。」を学校教育目標に掲げ、大規模校の良さを生かしながら、「みんなで学び みんなが育つ」の教育理念に基づき、子どもたちの生きる力の育成に取り組んでいます。今年度12月に学校評価アンケートを児童、保護者、職員に実施し、以下のように分析いたしました。今後の教育活動に生かしてまいります。</p>			<p>今回の保護者アンケートでは、各設問の評価の他に、中央小をよりよくするためのご意見等をいただきました。ありがとうございました。</p>
成 果	確かな学力	「授業は分かりやすいか。」との問いに対し、低学年・高学年ともに肯定的な意見が91%以上となりました。教職員も「学習の見通しや課題内容が明確な授業が展開できた。」の項目が93%以上となり授業改善に努めた結果となりました。保護者の方からも、92%以上と高い評価をいただきました。タブレットを使った学習に関する問いに対し、低学年93.9%の児童が「好きである。」、高学年73.4%の児童が「楽しい」と回答しています。また、保護者の方からも80%を超える肯定的な意見をいただきました。今後も、ICTの効果的な活用方法を検討し授業に取り入れていきたいと思ひます。そして、児童が主体的に学習に取り組める環境を整えていきます。	<p>【危機管理】 友達とぶついていたり、狭い歩行者通路の中で走ったりして何度も車とぶつかりそうになって危険です。下校中に歩きスマホをしている児童を見かけます。交通安全に関しては、登下校中の歩き方や道路の渡り方について学年に応じた指導をしているところです。今一度、具体的な場面を想定して、児童の安全意識向上に向け指導をしていきたいと思ひます。保護者の皆様も引き続き見守り等にご協力をお願いいたします。また、登下校中のスマートフォンの使用については、その危険を示し、歩きスマホはしないよう指導いたします。</p>
	豊かな心	「クラスの友達は、みんなのことを大切にしようとしている。」の問いに対し、低学年・高学年ともに肯定的な意見が90%以上となりました。保護者の方からも「人権に配慮したルールを指導している。」に肯定的なご意見を多くいただきました。教職員の自己評価からも、「児童と児童の関係性（横系）をつくる取組が充実した。」、「子どもが自分を大切に思えるようにする指導が充実した。」の項目は高く、豊かな心の育成に取り組むことができたからだと考えます。引き続き、児童の心情に寄り添い、教育相談の充実、いじめのない豊かな人間関係づくりに努めていきます。	<p>【学校行事】 学習発表会のようなイベントが無かったのが寂しいと感じた。授業参観が中止となり、学校の様子を見る機会が減り残念でした。 ⇒今年度、11月に予定していた授業参観を、インフルエンザ感染予防のため中止としました。学級閉鎖をしている学級もあり、検討を重ね決定しました。当日授業内で行う予定であった発表会などは、学級で披露できる場を設け実施しました。今後は、感染症の流行時期を鑑み行事時期の検討をしていきたいと思ひます。学校公開や学校行事等で子どもたちの活躍の場を見ていただけるよう計画して行きたいと思ひます。また、子どもたちに関わる行事としては、芸術鑑賞会やANA航空教室、筆体験教室など、実際に見たり体験したりできる行事を計画・実施してきました。今後は、「結果」だけでなく「過程」を大切に教育を行い、子どもたちにとって達成感や充実感を得られる内容の行事を検討してまいります。</p>
	健やかな体	体力向上に関する問いに対し、保護者の方からは、82%と高い評価を得ています。児童のアンケートを見ると、低学年は91%と高いのに対し、高学年は78%と減少する傾向があります。年間を通して外遊びを推奨し、マラソンや縄跳びなどで体力の向上に努めながら、健康に対する意識を向上させていけるよう学校でも指導していきます。また、朝ごはんを食べてから学校に登校する児童の割合が、昨年度同様90%を超えました。ご家庭においても児童の健やかな体作りに取り組んでいただいていることが集計結果に反映されています。	<p>【歯磨き指導】 学校全体でも歯磨きをする環境を整えてほしいです。歯磨きをしたくてもする時間がないとのことなので、歯磨きの時間を取ってほしい。 ⇒歯磨きに関しては、強制とはせず個人に任せられた取り組みを行っているところです。今年度途中から、歯磨き粉の使用を可としました。それにより、歯磨きをする児童が増えた様です。今後も健康な体づくりや感染症予防のため、歯磨きを推奨していきたいと思ひます。また、歯磨きをする時間については、今後学校で検討していきたいと思ひます。</p>
	危機管理	どの対象も85%以上の数値でした。今後は、地域社会や学校の実情に合わせた訓練や安全教育を実施していきます。	
	学校生活	「困ったことは先生に話すようにしている」の問いに対し、低学年の肯定的な割合が、84%以上となりました。保護者の方からも「困ったときに相談にのってくれる」の項目で高い評価を得ています。これからも子どもたちに寄り添い、安心して学校生活が送れるように支援してきます。	
課 題	教育相談	学校生活アンケートや調査、教育相談、見守り等を通して、児童一人一人の悩みの対応に努めています。「困ったことを先生に話している」児童の割合が、低学年が84%に対し、高学年は66%と低くなっています。SOSの出し方教育の実施や悩み事相談箱、悩み事相談員の周知・PRなど教員と児童の人間関係を一層、構築していけるように努めていきます。	<p>【給食】 食育に関してですが、デザートが出ない日も多くあるようです。予算の都合もあると思ひますが、子ども達の楽しみの一つでもあるので、デザートが毎日出るとありがたいです。聞いていると給食の量が少なく感じます。給食が温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で出してほしい。 ⇒デザートに関して給食センターへ意見を届けたいと思ひます。また、量に関しては、学年に応じた適正量が届いています。各学級の配膳の方法等を今後工夫してまいります。</p>
	読書の習慣	読書の習慣化については、低学年・高学年ともに読書が好きな割合が昨年度より減少してきています。読み聞かせやPTAによる読み聞かせ、新刊図書を整備、「読書賞」の取組、「読書ビンゴ」等、今年度もさまざまな取組を実施してまいりました。また、「読む力」の育成に向け、朝自習の音読を取り入れています。今後は図書館司書と連携しながら、読書の習慣化につながるような取組を計画・実施していきます。	<p>【タブレット】 タブレットはいつも持ち帰りが出来るとよいです。 ⇒学校ではタブレットを学習やアンケート等で活用することが多くなり、児童も様々な方法で使用しています。持ち帰りに関しては、荷物の量や重さにより安全面、体力面を考慮して行っているところです。今後、タブレットでの宿題や家庭学習等が増えることで、持ち帰る頻度も増えると考えられます。学年や発達段階に応じて検討していきたいと思ひます。</p>
	家庭との連携	学校での子どもたちの様子がわかるような家庭への連絡方法などについて、ご意見をいただきました。連絡アプリ「teturu」や学校ホームページでの公開など、連絡方法を改善してきました。今後は、どのような連絡方法であればご家庭に学校での子どもたちの様子が伝わるか、検討し、内容を精選して必要な情報を発信できるよう検討していきます。	<p>【その他（保護者アンケートより）】 運動や係りを頑張っているようで、楽しそうに話してくれます。学校全体の細やかな指導に感謝致します。 子どもは毎日学校が楽しいと教えてくれます。こんなに楽しく学校生活を送られるのも担任の先生、諸先生方のお陰だと思ひます。子供の話を良く聞いてくれる先生なので、安心していきますのでこれ以上はありません。いつもありがとうございます。</p> <p>他にも、学校行事の実施方法、学習や生活、設備や環境等について改善の視点でのご意見を多数いただきました。来年度に向けて、一つ一つのご意見を大切に検討してまいります。今後は、保護者、地域、関係機関の皆様と連携しながら、よりよい中央小を目指していきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p>